

資料 4

医薬品の適正使用についてのアンケート結果

医薬品は適正に使用することで、病気の治療等に役立つものですが、複数の医療機関を受診することで、同じ効き目の薬を重複して処方されたり、薬の飲み合わせによる副作用が発生したりすることがあります。

医薬品を安全に確実に使用していくためには、薬局や薬剤師の役割が重要です。

そこで、県では、医薬品の適正使用を進めていく上での施策の参考とするため、アンケート調査を実施しますので、皆様のご協力をお願いいたします。

★調査時期:令和5年10月

★対象者:県政モニター296人

★回答者:254人(回答率85.8%)

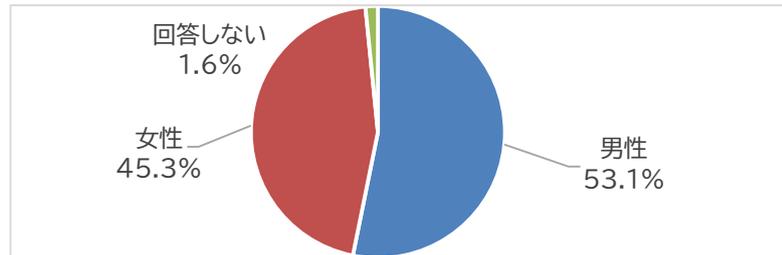
★担当課:健康医療福祉部 薬務課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【回答者の属性】

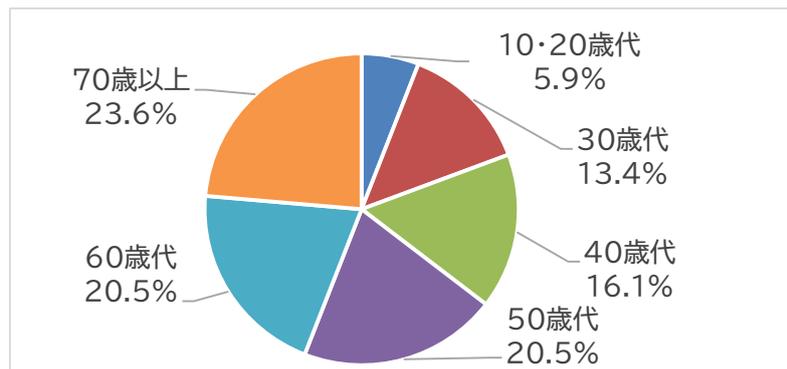
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	135	53.1
女性	115	45.3
回答しない	4	1.6
合計	254	100.0



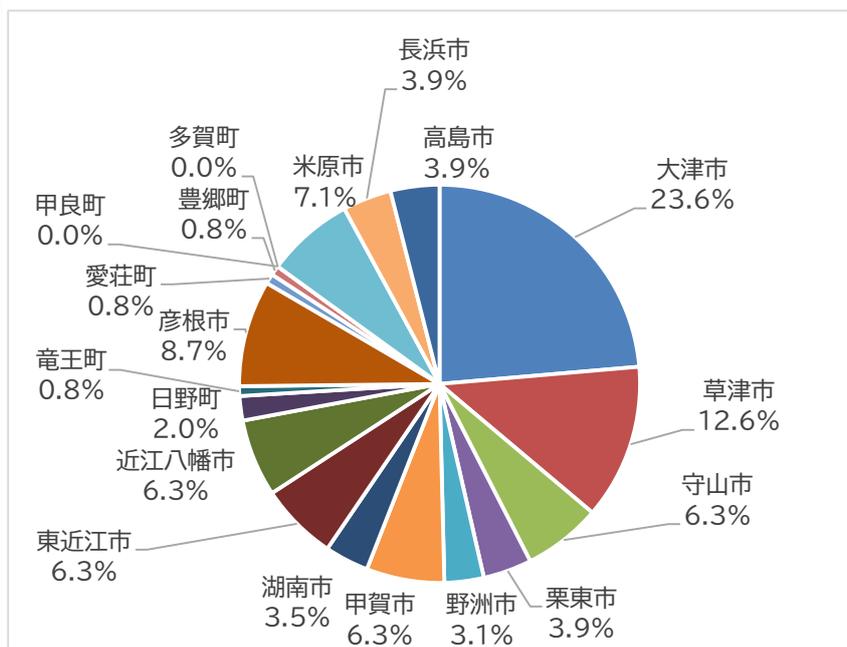
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	15	5.9
30歳代	34	13.4
40歳代	41	16.1
50歳代	52	20.5
60歳代	52	20.5
70歳以上	60	23.6
合計	254	100.0



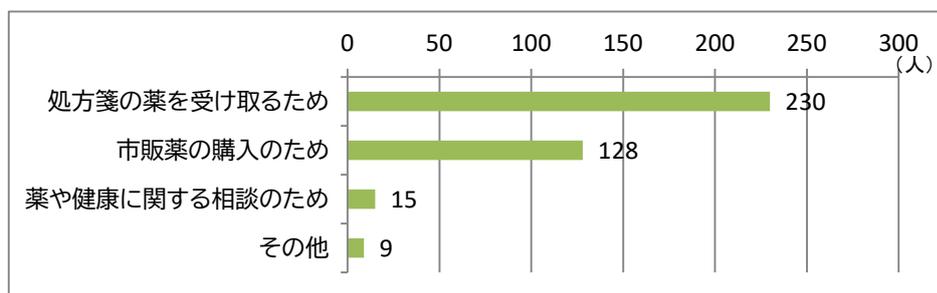
問1 あなたが現在お住まいの市または町名をご記入ください。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
大津市	60	23.6%
草津市	32	12.6%
守山市	16	6.3%
栗東市	10	3.9%
野洲市	8	3.1%
甲賀市	16	6.3%
湖南市	9	3.5%
東近江市	16	6.3%
近江八幡市	16	6.3%
日野町	5	2.0%
竜王町	2	0.8%
彦根市	22	8.7%
愛荘町	2	0.8%
豊郷町	2	0.8%
甲良町	0	0.0%
多賀町	0	0.0%
米原市	18	7.1%
長浜市	10	3.9%
高島市	10	3.9%
合計	254	100.0%



問2 あなたが薬局を利用する目的は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
処方箋の薬を受け取るため	230	90.6%
市販薬の購入のため	128	50.4%
薬や健康に関する相談のため	15	5.9%
その他	9	3.5%

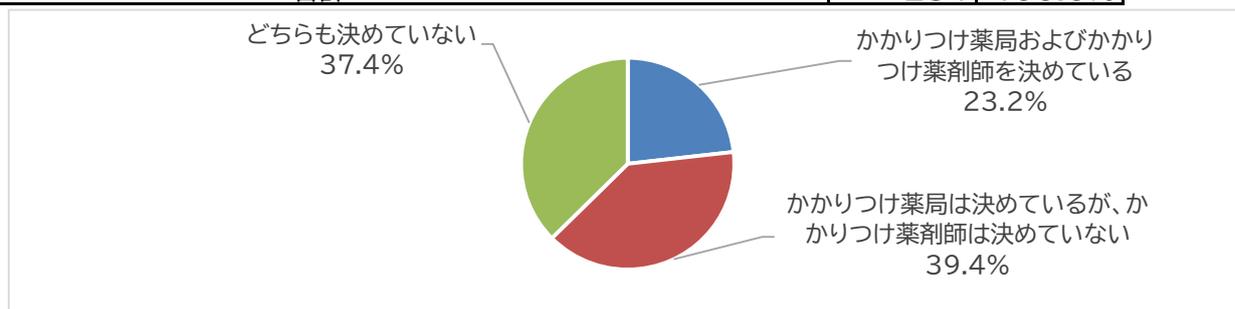


[その他の意見から抜粋]

・食品、化粧品、日用品の購入

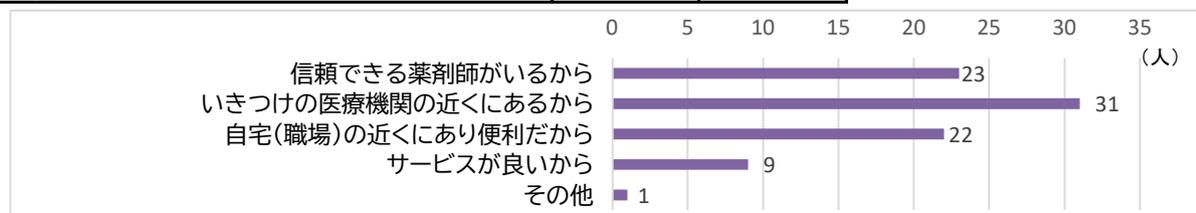
問3 病院や診療所で受け取った処方箋を持っていったり、薬のことについて気軽に相談できる特定の薬局(かかりつけ薬局)や担当の薬剤師(かかりつけ薬剤師)を決めていますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている	59	23.2%
かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めている	100	39.4%
どちらも決めている	95	37.4%
合計	254	100.0%



問3.1 問3で「1. かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=59)

項目	人数(人)	割合(%)
信頼できる薬剤師がいるから	23	39.0%
いきつけの医療機関の近くにあるから	31	52.5%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	22	37.3%
サービスが良いから	9	15.3%
その他	1	1.7%



[その他の意見から抜粋]

・介護保険での居宅療養管理指導の仕組みで担当薬剤師さんが来宅し 処方箋の薬の配達と説明 関係する健康相談をしていただけなので。

問3.2 問3で「2. かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=100)

項目	人数(人)	割合(%)
信頼できる薬剤師がいるから	6	6.0%
いきつけの医療機関の近くにあるから	57	57.0%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	48	48.0%
サービスが良いから	14	14.0%
その他	5	5.0%

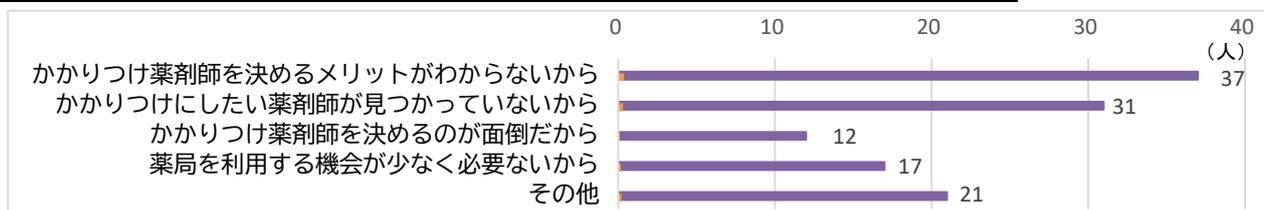


[その他の意見から抜粋]

- ・たずねたことに対して、調べてきちんと答えてくれる
- ・薬剤師を指名できるとは知らなかった。関わりたくない薬剤師はいる。

問3.3 問3で「2. かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬剤師を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=100)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬剤師を決めるメリットがわからないから	37	37.0%
かかりつけにしたい薬剤師が見つからないから	31	31.0%
かかりつけ薬剤師を決めるのが面倒だから	12	12.0%
薬局を利用する機会が少なく必要ないから	17	17.0%
その他	21	21.0%



[その他の意見から抜粋]

- ・かかりつけ薬局は知っているがかかりつけ薬剤師というシステムは知らなかった。
- ・何人もいる薬剤師さん、行くたびにその時手が空いた方が担当されるため、毎回違うことになる。

問3.4 問3で「3. どちらも決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=95)

項目	人数(人)	割合(%)
それぞれの医療機関に近い薬局が便利だから	67	70.5%
かかりつけ薬局を決めるメリットを感じないから	24	25.3%
自宅の近くなどに利用しやすい薬局がないから	12	12.6%
医薬品の在庫が無いなど待たされるから	5	5.3%
その他	15	15.8%

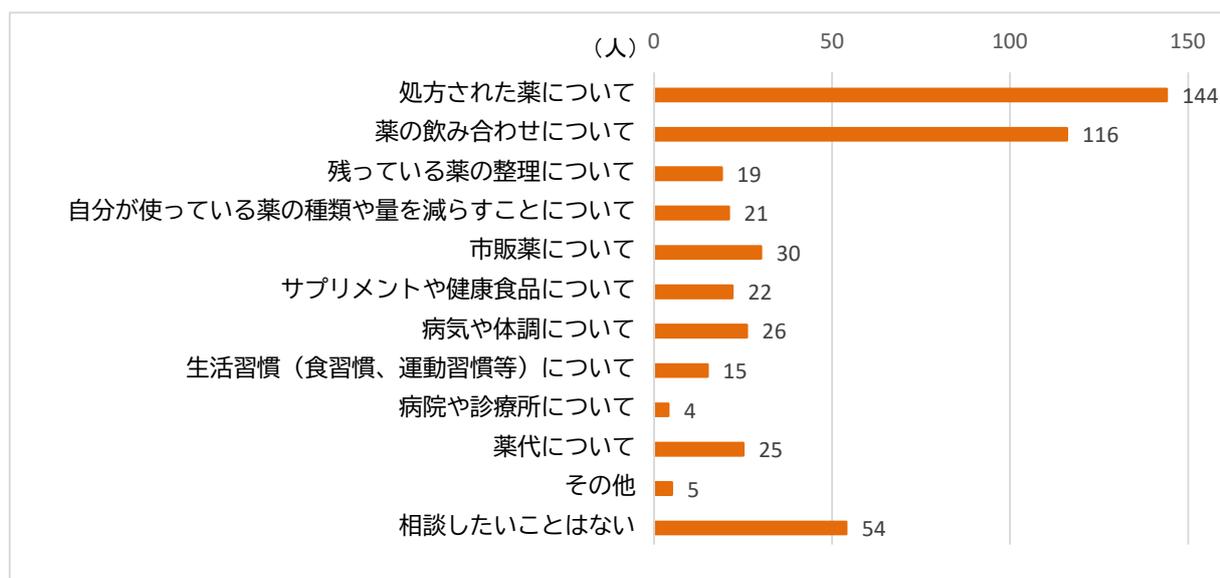


[その他の意見から抜粋]

- ・定期的な服薬をしていないため。
- ・薬局によって基本料が違うのがわかったので、薬によって変えています。

問4 あなたが利用している薬局の薬剤師に相談したいことを、次の中から選択してください。(回答チェックはいくつでも可 n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
処方された薬について	144	56.7%
薬の飲み合わせについて	116	45.7%
残っている薬の整理について	19	7.5%
自分が使っている薬の種類や量を減らすことについて	21	8.3%
市販薬について	30	11.8%
サプリメントや健康食品について	22	8.7%
病気や体調について	26	10.2%
生活習慣(食習慣、運動習慣等)について	15	5.9%
病院や診療所について	4	1.6%
薬代について	25	9.8%
その他	5	2.0%
相談したいことはない	54	21.3%



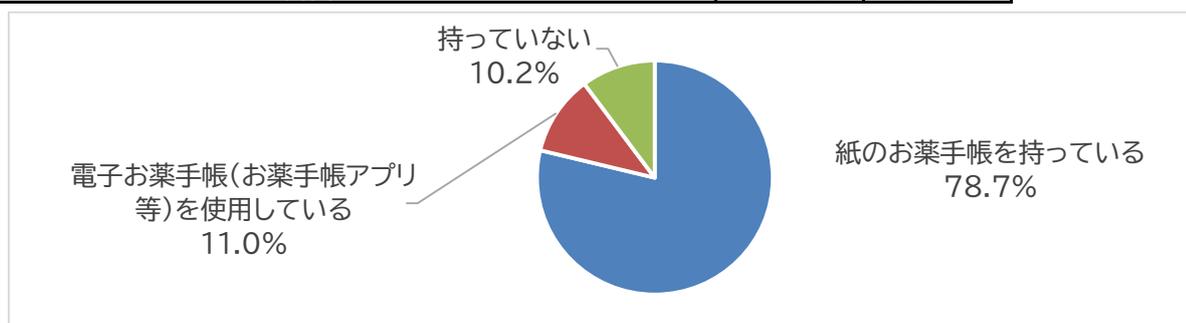
[その他の意見から抜粋]

- ・ジェネリック品が利用できないかの問い合わせ。
- ・違う薬をすすめられた時に他の方の情報や薬の効果時間などを聞いてます。

問5 あなたは、紙のお薬手帳(※)を持っていますか。または、電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用していますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

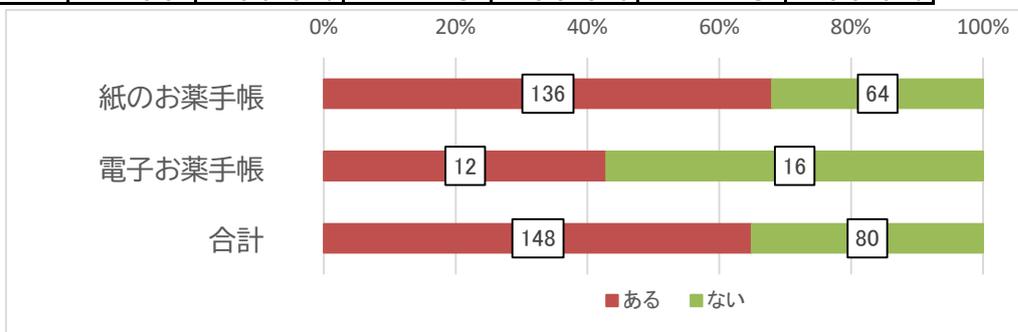
※お薬手帳…処方された薬の名前や量などについて記録しておくための手帳で、薬によるアレルギーの発症経験や薬局・薬店で購入して使用した薬についても記録できる

項目	人数(人)	割合(%)
紙のお薬手帳を持っている	200	78.7%
電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している	28	11.0%
持っていない	26	10.2%
合計	254	100.0%



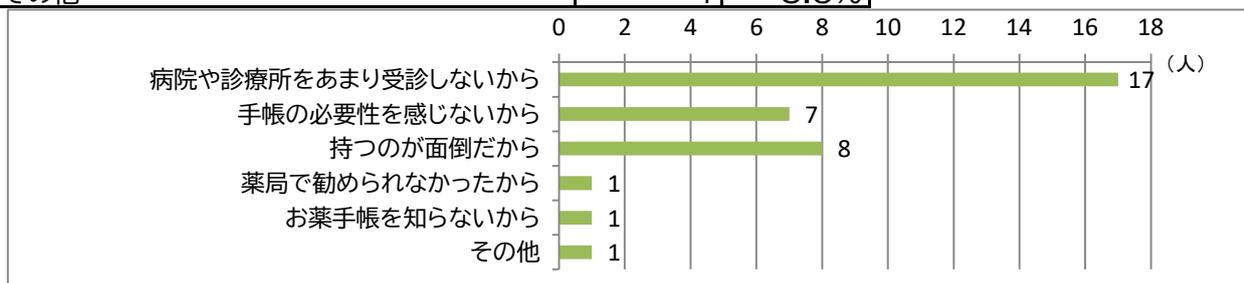
問5.1 「紙のお薬手帳を持っている」または「電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している」を選択された方はお薬手帳を医師に見せたことはありますか。(回答チェックは1つだけ 紙のお薬手帳:n=200、電子お薬手帳:n=28、合計:n=228)

項目	紙のお薬手帳		電子お薬手帳		合計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	136	68.0%	12	42.9%	148	64.9%
ない	64	32.0%	16	57.1%	80	35.1%
合計	200	100.0%	28	100.0%	228	100.0%



問5.2 「持っていない」を選択された方はお薬手帳を持っていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=26)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所をあまり受診しないから	17	65.4%
手帳の必要性を感じないから	7	26.9%
持つのが面倒だから	8	30.8%
薬局で勧められなかったから	1	3.8%
お薬手帳を知らないから	1	3.8%
その他	1	3.8%



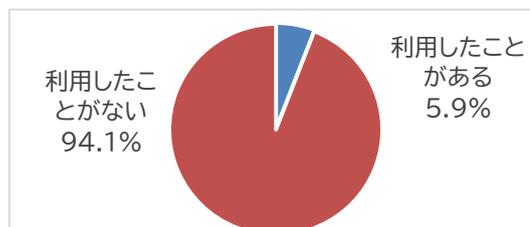
[その他の意見から抜粋]

・今はとりあえず健康で利用する必要がないから。

問6 令和5年から電子処方箋(※)の運用が開始されましたが、あなたは電子処方箋を利用したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

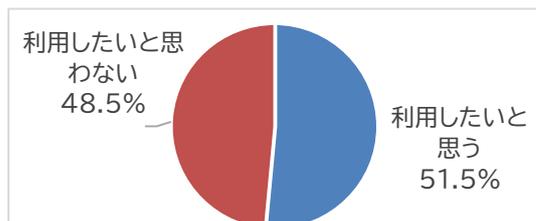
※電子処方箋…現在紙で行われている処方箋の運用を電子で実施する仕組みで、患者が直近の処方や調剤された内容を閲覧したり、重複した薬のチェックが可能となる

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	15	5.9%
利用したことがない	239	94.1%
合計	254	100.0%



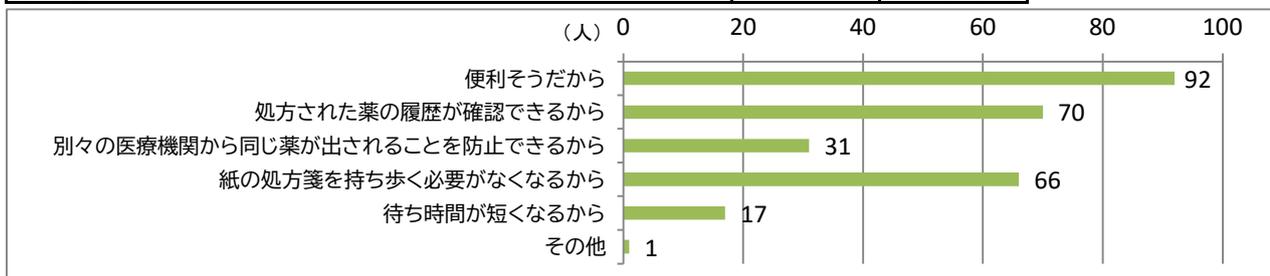
問6.1 問6で「2. 利用したことがない」を選択された方におたずねします。電子処方箋を利用したいと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=239)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したいと思う	123	51.5%
利用したいと思わない	116	48.5%
合計	239	100.0%



問6.2 問6.1で「1. 利用したいと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=123)

項目	人数(人)	割合(%)
便利そうだから	92	74.8%
処方された薬の履歴が確認できるから	70	56.9%
別々の医療機関から同じ薬が出されることを防止できるから	31	25.2%
紙の処方箋を持ち歩く必要がなくなるから	66	53.7%
待ち時間が短くなるから	17	13.8%
その他	1	0.8%

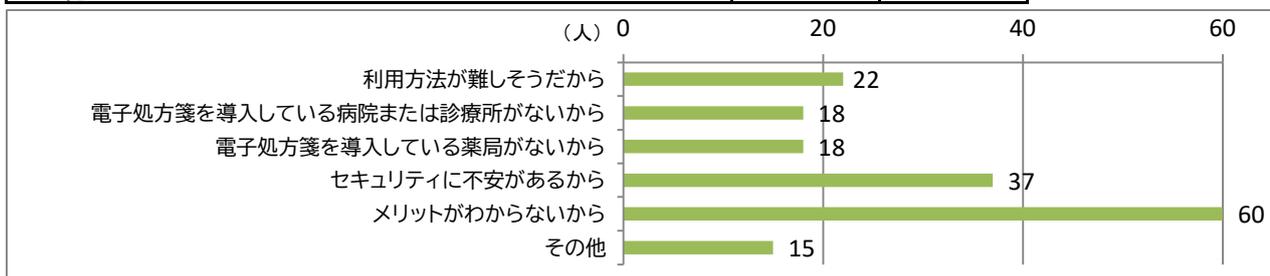


[その他の意見から抜粋]

・複数の医療機関の医師が処方箋の薬の情報を参照しながらより適切に処方できそうだから。

問6.3 問6.1で「2. 利用したいと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=116)

項目	人数(人)	割合(%)
利用方法が難しそうだから	22	19.0%
電子処方箋を導入している病院または診療所がないから	18	15.5%
電子処方箋を導入している薬局がないから	18	15.5%
セキュリティに不安があるから	37	31.9%
メリットがわからないから	60	51.7%
その他	15	12.9%



[その他の意見から抜粋]

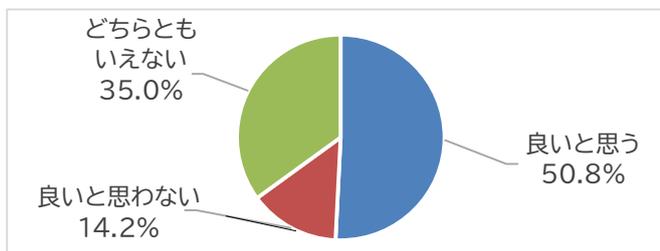
・画面で文字を見ることになると見づらく、登録等が面倒。

・何から何まで紐づけされるのは不快だから。

問7 あなたは医薬分業(※)についてどのように考えていますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

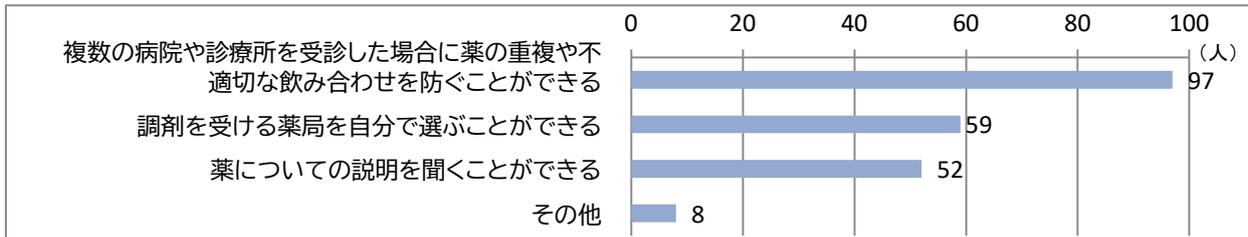
※医薬分業…医師または歯科医師が処方せんを発行し、薬局の薬剤師が調剤を行う仕組み

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	129	50.8%
良いと思わない	36	14.2%
どちらともいえない	89	35.0%
合計	254	100.0%



問7.1 問7で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=129)

項目	人数(人)	割合(%)
複数の病院や診療所を受診した場合に薬の重複や不適切な飲み合わせを防ぐことができる	97	75.2%
調剤を受ける薬局を自分で選ぶことができる	59	45.7%
薬についての説明を聞くことができる	52	40.3%
その他	8	6.2%

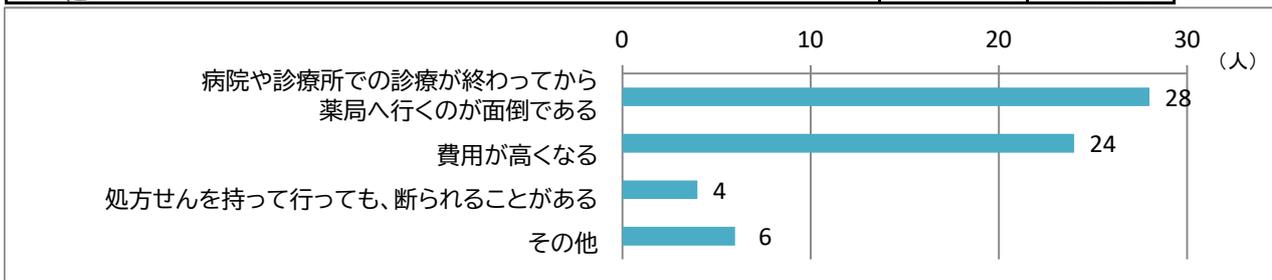


[その他の意見から抜粋]

- ・医師の処方に対して、薬剤師の所見や意見を聞くことができる
- ・疑義照会があることに安心感をもつため
- ・医院での待ち時間が短くなる

問7.2 問7で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=36)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所での診療が終わってから薬局へ行くのが面倒である	28	77.8%
費用が高くなる	24	66.7%
処方せんを持って行っても、断られることがある	4	11.1%
その他	6	16.7%



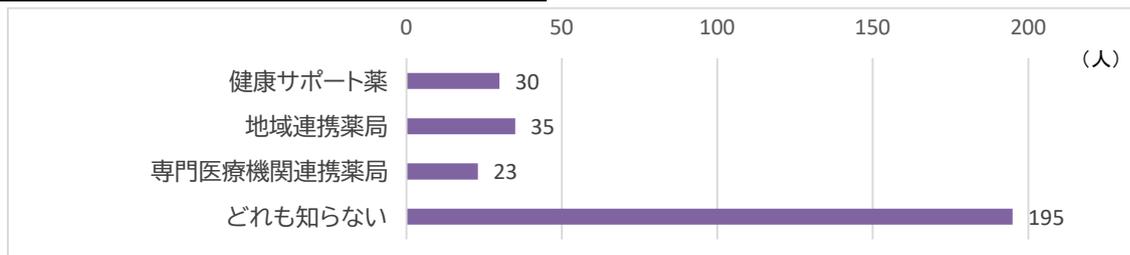
[その他の意見から抜粋]

- ・処方箋を持って行っても、その薬がないことがあるため
- ・先生と薬剤師さんとの連携がないから、どちらにも相談しにくい。

問8 あなたは健康サポート薬局(※)、地域連携薬局(※)、専門医療機関連携薬局(※)を知っていますか。知っているものを選択してください。(回答チェックはいくつでも可 n=254)

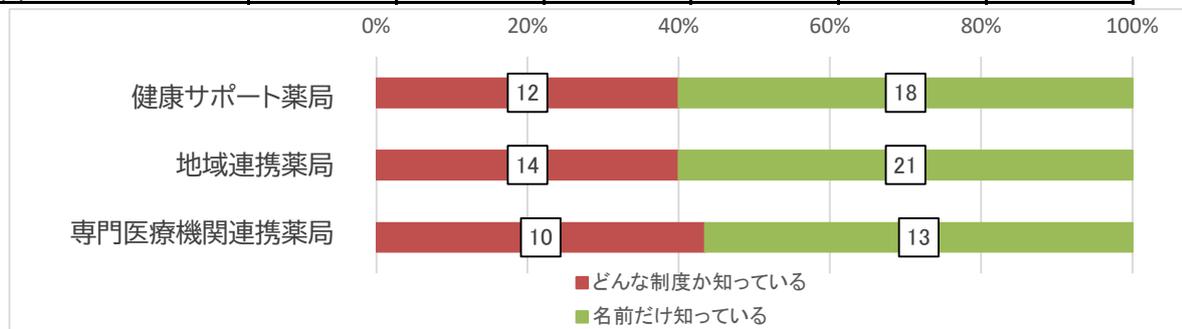
※健康サポート薬局…健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、率先して地域住民の健康サポートを積極的に支援する薬局。
 ※地域連携薬局…外来受診時だけではなく、在宅医療への対応や入院時を含め、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局。
 ※専門医療機関連携薬局…がんの専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局。

項目	人数(人)	割合(%)
健康サポート薬	30	11.8%
地域連携薬局	35	13.8%
専門医療機関連携薬局	23	9.1%
どれも知らない	195	76.8%



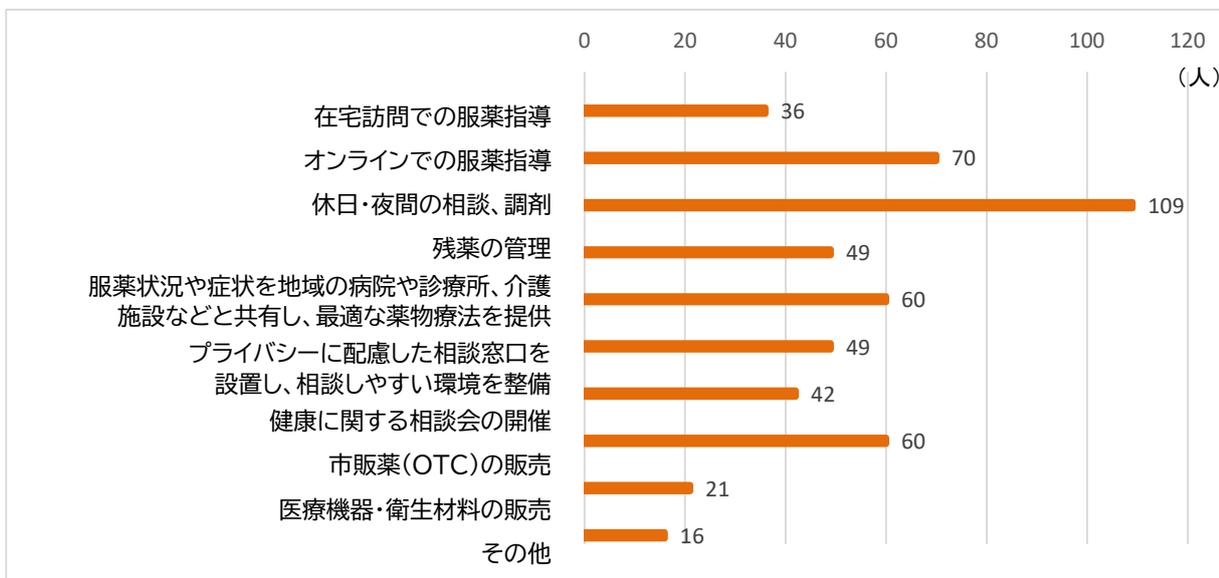
問8.1 健康サポート薬局、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局についてどの程度知っているか教えて下さい。(回答チェックは1つだけ 健康サポート薬局:n=30、地域連携薬局:n=35、専門医療機関連携薬局:n=23)

項目	健康サポート薬局		地域連携薬局		専門医療機関連携薬局	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
どんな制度か知っている	12	40.0%	14	40.0%	10	43.5%
名前だけ知っている	18	60.0%	21	60.0%	13	56.5%
合計	30	100.0%	35	100.0%	23	100.0%



問9 薬局は薬を調剤する以外に様々な取り組みをしていますが、あなたが薬局に期待する取り組みは何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
在宅訪問での服薬指導	36	14.2%
オンラインでの服薬指導	70	27.6%
休日・夜間の相談、調剤	109	42.9%
残薬の管理	49	19.3%
服薬状況や症状を地域の病院や診療所、介護施設などと共有し、最適な薬物療法を提供	60	23.6%
プライバシーに配慮した相談窓口を設置し、相談しやすい環境を整備	49	19.3%
健康に関する相談会の開催	42	16.5%
市販薬(OTC)の販売	60	23.6%
医療機器・衛生材料の販売	21	8.3%
その他	16	6.3%



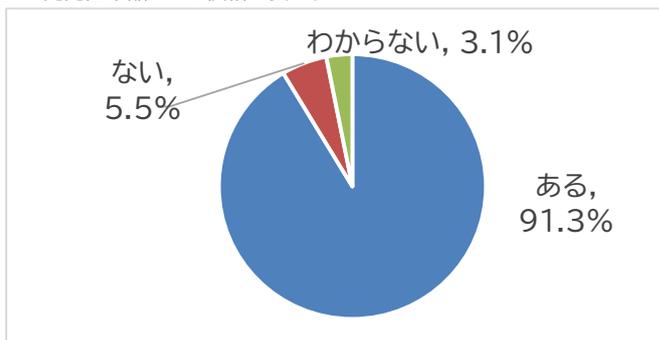
[その他の意見から抜粋]

- ・処方箋通り、間違いのない薬を提供してくれるだけでよい。
- ・抗生物質の薬であっても長期にわたって処方する医者があります。が、薬剤師は処方箋のまま調剤するだけでなく、医者が処方したものであってもダメなものは言ってほしい。医薬分業の意味を知り責任ある薬剤師望みます。
- ・薬局に行かなくても処方薬を受け取ることができる仕組み。
- ・薬剤師が病人の位置に立ち、病院や製薬会社との調整を行えるようになることを期待します。

問10 あなたは今までにジェネリック医薬品(後発医薬品)(※)を実際に使用したことがありますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

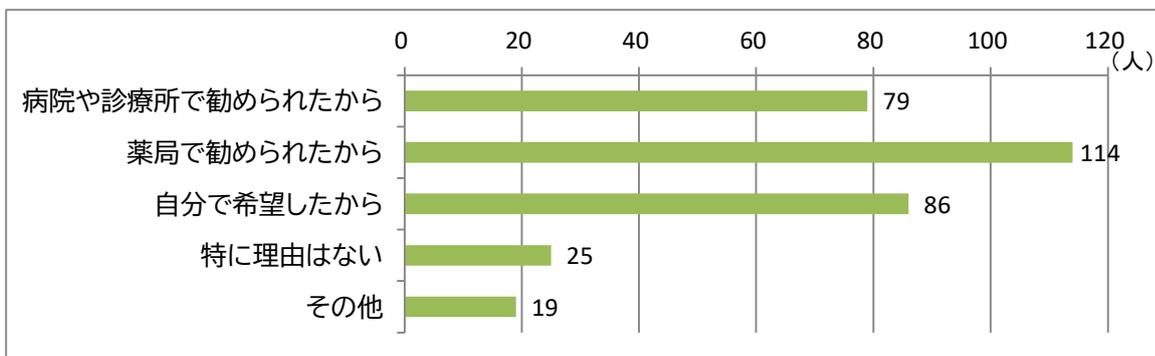
※ジェネリック医薬品(後発医薬品)…先発医薬品(先に開発された薬)の特許が切れた後に別のメーカーから販売される同じ有効成分を使った薬のことで、開発に必要な経費があまりかからないため、先発医薬品よりも価格が安い。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	232	91.3%
ない	14	5.5%
わからない	8	3.1%
合計	254	100%



問10.1 問10でジェネリック医薬品を使用したことが「ある」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所で勧められたから	79	34.1%
薬局で勧められたから	114	49.1%
自分で希望したから	86	37.1%
特に理由はない	25	10.8%
その他	19	8.2%



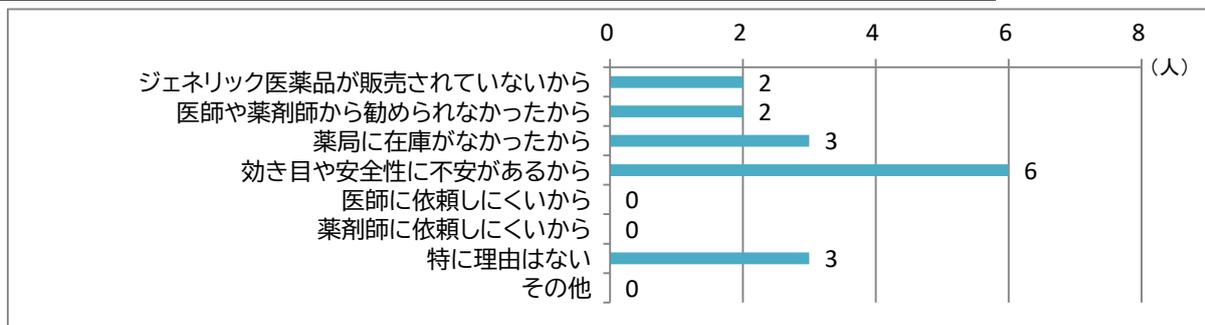
[その他の意見から抜粋]

- ・安いから
- ・健康保険組合が保険料負担の減額として推奨しているため。

問10.2 問10でジェネリック医薬品を使用したことが「ない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=14)

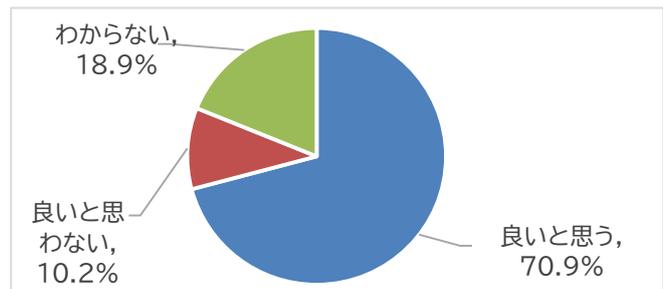
項目	人数(人)	割合(%)
ジェネリック医薬品が販売されていないから	2	14.3%
医師や薬剤師から勧められなかったから	2	14.3%
薬局に在庫がなかったから	3	21.4%
効き目や安全性に不安があるから	6	42.9%
医師に依頼しにくいから	0	0.0%
薬剤師に依頼しにくいから	0	0.0%
特に理由はない	3	21.4%

その他	0	0.0%
-----	---	------



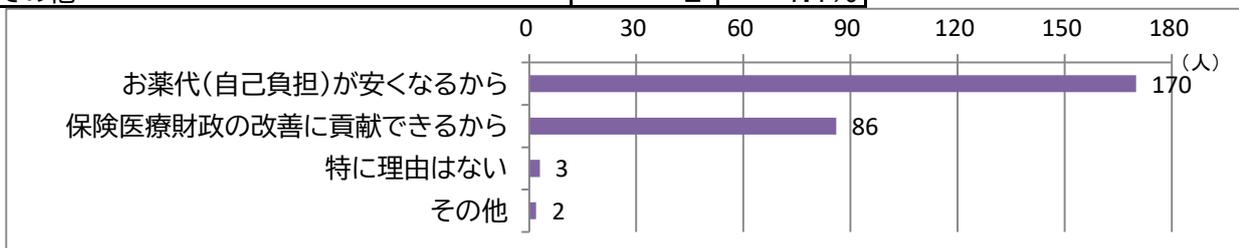
問11 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を推進することについて、どのように思いますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	180	70.9%
良いと思わない	26	10.2%
わからない	48	18.9%
合計	254	100.0%



問11.1 問11で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=180)

項目	人数(人)	割合(%)
お薬代(自己負担)が安くなるから	170	94.4%
保険医療財政の改善に貢献できるから	86	47.8%
特に理由はない	3	1.7%
その他	2	1.1%



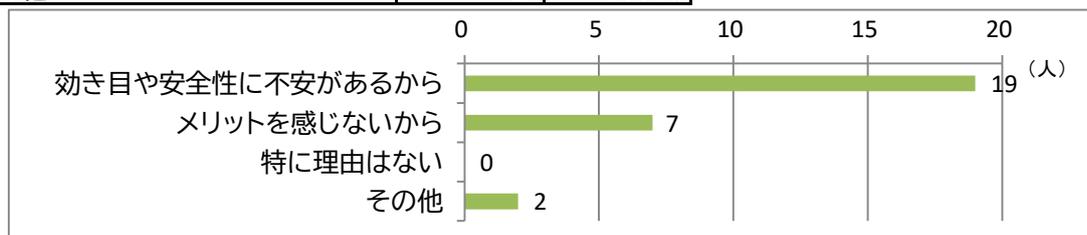
[その他の意見から抜粋]

・薬の場合は、指定薬以外の選択肢が先ずないと考えています。ジェネリック薬がなければ薬代の負担が大きく奨められる治療が困難になり、たいへん有り難い取組みに感謝しています。もっと増えるように願っています。

・製薬事業の広がり貢献するから。但し、事業者の厳格な管理・運用が大前提。

問11.2 問11で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可 n=26)

項目	人数(人)	割合(%)
効き目や安全性に不安があるから	19	73.1%
メリットを感じないから	7	26.9%
特に理由はない	0	0.0%
その他	2	7.7%

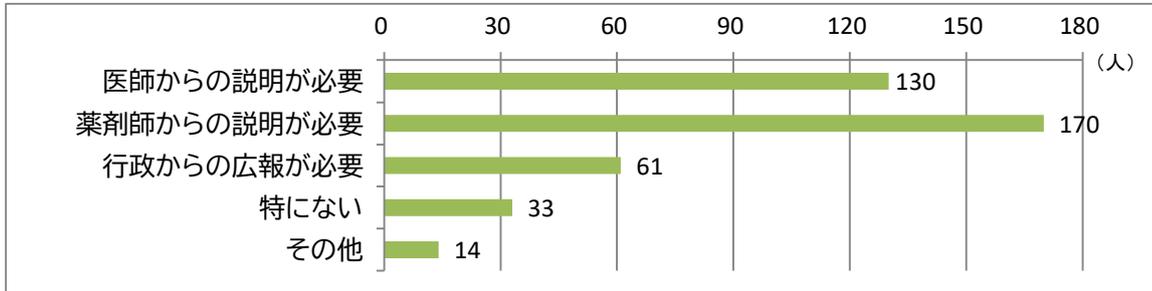


[その他の意見から抜粋]

・薬価を下げてむやみに安い製剤を作らせることにより、供給や品質が不安定になっているのが現状であるから。

問12 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を安心して使用するためには、行政や医療機関等がどのようにしたらいいと思いますか。(回答チェックはいくつでも可 n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
医師からの説明が必要	130	51.2%
薬剤師からの説明が必要	170	66.9%
行政からの広報が必要	61	24.0%
特にない	33	13.0%
その他	14	5.5%



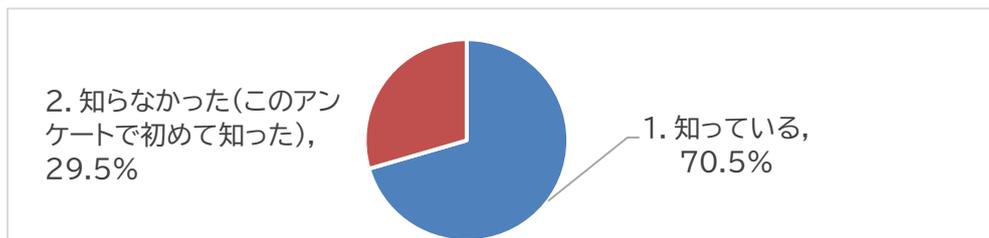
[その他の意見から抜粋]

- ・ここ数年後発薬メーカーの不祥事が何件か有り、品質に不信感を抱いています。
- ・病気の為の薬が添加物で身体を壊すのは本末転倒かと思えます。添加物も同じにすべきです。
- ・安全であるということをもっとアピールすべき。最近よく製薬会社の薬効問題を聞く。
- ・健康保険組合からの説明

問13 あなたは、現在、医薬品の供給不安(※)が起きていることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=254)

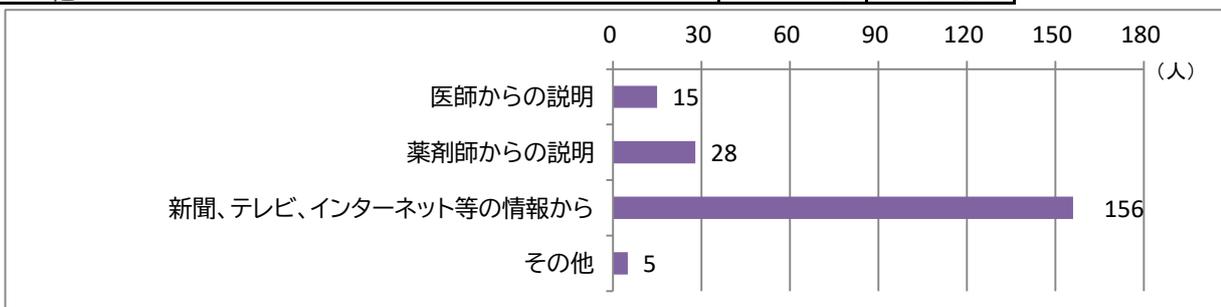
※医薬品の供給不安…製薬メーカーの違反等によって薬が出荷できなくなったり、特定の薬の需要が高まり過ぎて供給が追いつかないなどの理由から薬の供給が不安定になっている問題。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	179	70.5%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	75	29.5%
合計	254	100%



問13.1 問13で選択された「1. 知っている」について、どこで知りましたか。(回答チェックはいくつでも可 n=179)

項目	人数(人)	割合(%)
医師からの説明	15	8.4%
薬剤師からの説明	28	15.6%
新聞、テレビ、インターネット等の情報から	156	87.2%
その他	5	2.8%



[その他の意見から抜粋]

- ・国会での質疑で知った
- ・身近な人に医療関係者がいるから

問14 医薬品の供給不安によって、あなたに処方された薬が変更または中止されたことはありますか。
(回答チェックは1つだけ n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
変更または中止されたことがある	43	16.9%
変更または中止されたことはない	192	75.6%
わからない	19	7.5%
合計	254	100.0%

